

会 議 録	
付属機関又は 会議体の名称	第1回 男女平等推進センター運営委員会
事務局（担当課）	男女平等推進センター
開催日時	令和3年9月24日（月） 午前10時00分～12時00分
開催場所	オンライン会議 * 委員長、副委員長のみ男女平等推進センター研修室2
出席者	委員 水埜多喜子 ト沢彩子 阿部やよい 大塚啓子 有泉三起子 原田敏郎 木川るり子 北崎裕紀子 小吹文紀 宮崎信行 男女平等推進センター所長
	事務局 3名
会議公開の可否	<b>公開</b> 非公開・一部公開 傍聴人 0名
非公開・一部公開 の場合はその理由	
会議次第	議題 1. 事業報告および今後の予定について 2. 報告事項について 3. 男女平等推進センターの運営について 4. その他連絡事項について
<p>審議経過</p> <p><b>【議題1】 事業報告および今後の予定について</b></p> <p>◇ 事務局より「各グループの事業報告と今後の予定」を報告。</p> <p>—委員からの質疑および意見—</p> <p>◆ 庶務・計画調整グループについて</p> <p>委員 豊島区パートナーシップ制度の申請数の累計が38組と報告があったが、今年度の申請数を知りたい。</p> <p>事務局 今年度は3組である。</p> <p>◆ 事業企画グループについて</p> <p>委員 ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度の申請数が少ないと感じる。まだ申請締め切り前ではあるが、事務局の今後の対応を聞きたい。</p> <p>事務局 認定の更新対象企業に対し、再度、連絡をする予定である。</p> <p>委員 リマインドをするだけでなく、申請数を増加させるための方策をさらに考えるべきだと考える。</p> <p>事務局 いただいた意見を参考に検討する。</p> <p>委員 男女平等推進センター（以下、エポック10という）は「すずらんスマイルプロジェクト」に関わっていると思うが、「すずらんスマイルプロジェクト」の事業を企画する予定であるか。</p> <p>事務局 「すずらんスマイルプロジェクト」としての事業を企画することはしない。しかし、エポック10の事業が「すずらんスマイルプロジェクト」の取組み内容に合致した内容であれば、本プロジェクトの名称も併せて使用する予定である。</p>	

- 委員 「区民企画講座」について、今年は学生に限定して企画委員を募ったとの報告があったが、委員はどのように募ったのか。また結果、どのような方が委員となったのか。
- 事務局 広報の方法としては、広報としま、Twitter、ホームページなどである。委員は区内大学に通学している大学生、または区内在住の大学生 6 人である。若い世代の方にもエポック 10 を知ってもらいたいという想いで、この度、学生限定で募ることにした。
- 委員 区民講座の大学生は「えぽっく・めいかー」の編集だけの活動になるのか。若い世代に対するエポック 10 の利用促進について、本件を契機として、今後どのような取組みを展開する予定か。
- 事務局 「区民企画講座」に参加している学生は事業の企画も行っているが、若い世代に対する広報の方法についても意見を提示していただいている。今後、これらの意見を参考にした運営を予定している。
- 委員 若い世代のエポック 10 に対する認知と参画の向上が重要な課題だと感じている。次回の運営委員会で「区民企画講座」でどのような意見があったのか共有してほしい。また、「区民企画講座」に参加している学生に次回の運営委員会へオブザーバーとして参加してもらい、企画内容の説明等を行うことで、運営委員会との横断的なつながりができると考えているがいかがか。
- 事務局 次回の運営委員会の報告方法も含め、検討する。
- ◆ 相談グループについて
- 委員 コロナ禍で相談の件数や内容はどう変わったか。
- 事務局 暴力事案相談件数は子育て支援課、男女平等推進センター合わせて令和元年で 500 件程度であったが、昨年は 700 件を超えている。その他の女性相談件数をみても令和元年が 1,951 件であったが、昨年は 2,379 件となっており、全体的に相談件数は増加している。また、暴力事案相談における暴力の種類では、従来までは精神的暴力に関する相談が多かったが、昨年は身体的暴力に関する相談も増加した。暴力の重度化が進んでいると感じる。さらに相談者の年齢層をみると、従来 40 代が最も多かったが、昨年は 30 代からの相談が増えた。
- 【議題 2】 報告事項について**
- 2-1. エポック 10 フェスタ 2021 について**
- 事務局 エポック 10 フェスタ 2021 が延期となり、今年度はイベントを令和 3 年 10 月 15 日～10 月 17 日、パネル展示を令和 3 年 9 月 1 日～10 月 30 日に実施する。メインイベントはテーマが「知って良かった！性差医療」、講師は天野恵子氏が登壇する。
- 2-2. 研修室のネットワーク環境の整備について**
- 事務局 エポック 10 各研修室にインターネット回線を敷設した。現在はエポック 10 の事業でのみ利用しているが、令和 4 年 4 月からは研修室利用者もインターネットを自由に利用できるよう、利用規約の整備や無線ルーター等の備品を用意する予定である。
- 委員 インターネット環境を整備し、よりエポック 10 の利便性が上がったことを PR して欲しい。また、備品の貸出がある場合は、施設予約システムから予約できるようにして欲しい。
- 事務局 いただいた意見を参考に検討していく。
- 委員 としま産業振興プラザのフリーWi-Fi はどうなるのか。

事務局 としま産業振興プラザのフリーWi-Fi もそのまま利用できる。しかしエポック 10 の研修室内では当該フリーWi-Fi の電波強度が弱かったため、今回、独自でインターネットを敷設するに至った。

委員 研修室内では別のインターネット回線を利用しなければならないことを周知し、混乱しないようにして欲しい。

事務局 周知方法も併せて検討する。

事務局 2-3. 「0iTr (オイテル)」について

事務局 生理用ナプキン無料提供サービス「0iTr」をエポック 10 の女子トイレに設置した。区施設の設置場所はエポック 10、区役所本庁舎、としま区民センターである。利用者は、個室に掲示の 2 次元コードからスマートフォンに専用アプリをダウンロードし、ディスペンサーにアプリをかざすことで、生理用ナプキンを 1 回 1 枚受け取ることができる。

委員 「0iTr」だけでなく、窓口で生理用品を配付する取組みも継続して行って欲しい。窓口で生理用品を配付する際に、相談機関の周知を行うことで、支援につなげることが重要だと考える。生理用品を配ることはいいことだが、相談機関の周知が充分になされていないことが気になる。

事務局 相談機関の周知方法として、区ホームページ「すずらんスマイルプロジェクト」のサイトを活用した周知をする予定である。

委員 「0iTr」は SNS で広報をしているが、同様に SNS を活用して相談機関の周知をする必要があると考える。

事務局 いただいた意見を参考に検討する。

委員 「中高生センタージャンプ」への設置は考えていないのか。

事務局 「0iTr」はスマートフォンが必要であるが、中高生はスマートフォンを持っていない場合があるため、トイレ内に生理用品を直接置くことにしている。

委員 エポック 10 の多目的トイレには「0iTr」は設置しているのか。

事務局 多目的トイレは手の届く範囲に様々な備品が設置してあるため、「0iTr」はスペースがなく設置できなかった。

委員 トランスジェンダーの方は、見た目は男性でも身体は女性で生理があるという場合もある。なかなか女性用トイレに入れられない事情もあるため、多目的トイレに設置が難しいのであれば、「受付で生理用品渡しています」という掲示をするなど、別の対応をしてもらいたい。

事務局 いただいた意見を参考に検討する。

委員 「0iTr」の設置について、若い世代へ伝わる周知方法をもっと考えてもらいたい。

委員 学校にポスターを貼るなど、学校を通じた広報をしてはどうか。

委員 「0iTr」だけでなく、「すずらんスマイルプロジェクト」の周知を、学校を通して行うべきだと考える。

事務局 「すずらんスマイルプロジェクト」は全庁的な取組みであるため、いただいた意見は関係所管課へ周知し、今後の検討課題とする。

委員 公立学校には生理用品は設置しているのか。

事務局 令和 3 年 4 月から女子トイレの個室に生理用品を設置している。

## 2-5. 第5次としま男女共同参画推進プラン策定について

事務局 現在策定中である第5次としま男女共同参画推進プランは、令和4年4月1日を始期とする5カ年の計画期間である。令和3年11月24日～12月15日にパブリックコメントを実施する。

委員 第4次としま男女共同参画推進プランとの変更点は何か。

事務局 内容に大きな変更はないが、第5次としま男女共同参画推進プランでは将来像「すべての人が互いの人権と多様性を尊重し、共に暮らせるまち」を新たに設定した。

### 【議題3】男女平等推進センターの運営について

事務局 男女平等推進センターを区民の方にとってより使いやすいセンターにしていくため、現在の男女平等推進センターの運営に対し、前回までの会議で様々な意見をいただいていた。いただいていた意見は次のとおりである。

- (1) エポック10利用団体へ利用者アンケートについて
- (2) エポック10認知度向上への取り組み強化について
- (3) 若年女性に訴求するコンテンツの作成について
- (4) 施設のさらなる利活用について

本日、「エポック10利用団体へ利用者アンケート」について、委員から提案がある。

委員 コロナ禍でエポック10登録団体の活動がなかなかできない状況であり、男女共同参画の拠点であるエポック10の存在価値が問われていると感じる。今後のアフターコロナにおけるエポック10のあり方を運営委員会としてエポック10登録団体にアンケートを取りたいと考えている。

委員 エポック10の活性化のためには、まずはエポック10登録団体の活動を把握することが必要だと考える。また、運営委員会としてアンケートを取ることで、運営委員会という審議会の周知となると考えている。

委員 エポック10登録団体を把握するメリットがあるのか。登録をしていない団体に対して登録をしていない理由を聞く方がいいのではないかと。

委員 エポック10登録団体は公費で会議室の減免を受けているため、区に対し申請が必要であり、区はエポック10登録団体自体の把握はできている。しかし、各団体の活動内容を把握しているわけではないので、コロナ禍における活動実績やアフターコロナにおける活動計画をヒアリングすることで、今後、エポック10をより有効活用してもらうためのヒントを得ることができると考えている。

委員 エポック10登録団体ではない団体はどのくらいあるのか。また、なぜ登録しないのか。

委員 エポック10登録団体ではない団体、いわゆる一般団体は現時点で32団体ある。エポック10登録団体は登録条件として「女性を取り巻く諸問題の解決及び男女共同参画社会の実現を図る活動を目的とする」団体である必要がある。一般団体はその登録要件に該当しない団体である。一般団体も登録していないわけではなく、エポック10に一般団体として登録している。

委員長 アンケートについてその他の意見はあるか。

委員 アンケートを取ることは賛成だが、アフターコロナのことを今のタイミングで聞かれても

	<p>答えられるのか疑問である。</p> <p>委員 アンケートの手法として、紙だけでなく Web アンケートを作成したいと考えている。区として Web アンケートの作成ツールはあるのか。</p> <p>事務局 区では Web アンケートの作成ツールを持っていない。セキュリティの観点から使用できるウェブブラウザも限られており、区で作成することは現状、難しい状況である。</p> <p>委員 運営委員会が Web アンケートの作成を受託することは可能か。</p> <p>事務局 確認して、次回以降、回答する。</p> <p>委員長 運営委員会がエポック 10 登録団体にアンケートを実施することに対して賛成か反対か意見を聞きたい。</p> <p>各委員 アンケートの実施について賛成である。</p> <p>委員長 その他意見があるか。</p> <p>委員 エポック 10 への若い世代の参画について意見がある。運営委員会に若い世代が参加しやすいような工夫をする必要があると考える。若い世代に限定して委員の募集をすることや開催時間を若い世代が参加しやすい時間に合わせるなどの対策を検討して欲しい。また、若い世代が意見を出したとしてもその他の年齢層の多数決によって意見が通らないことも少なくない。コンテンツの作成にあたって若い世代のみで決める機会を設けるなど、若い世代の意見が反映される仕組みづくりが必要と考える。政策決定の場に若い世代の参加率を上げることと、その意見を反映させる工夫がなければ、若い世代の参画は実現しないと考える。</p> <p>事務局 いただいた意見を参考に検討する。</p> <p><b>【議題 4】 その他連絡事項について</b></p> <p>委員長 次回、開催日は令和 3 年 12 月 2 日（木）の午後 3 時からとする。</p> <p>以上で運営委員会を終了する。</p>
提出資料	<p>資料 1-1 運営委員会 事業報告（庶務・計画調整 G）</p> <p>資料 1-2 運営委員会 事業報告（事業企画 G）</p> <p>資料 1-3 運営委員会 事業報告（相談 G）</p> <p>資料 2-1 エポック 10 フェスタ 2021 について</p> <p>資料 2-2 研修室のネットワーク環境の整備について</p> <p>資料 2-3 「OiTr（オイテル）」による生理用ナプキン無料提供サービスについて</p> <p>資料 2-4 第 5 次としま男女共同参画推進プラン策定について</p> <p>資料 3 男女平等推進センターの運営について</p>